

「にいがた市民大学」運営委員会 会議概要

| 令和5年度第1回「にいがた市民大学」運営委員会 | |
|-------------------------|--|
| 開催日時 | 令和5年5月31日（水） 午後2時00分～午後3時50分 |
| 会場 | クロスパルにいがた 交流ホール2 |
| 出席者 | 委員：追手学長、霜鳥委員、中村（恵）委員、中村（美）委員 成田委員、野内委員、橋本委員、山田委員 計8名 事務局：教育次長、生涯学習センター所長、所長補佐、センター職員3名 |
| 内容 | <p>1 開会</p> <p>2 学長あいさつ</p> <p>3 事務局職員紹介</p> <p>4 報告事項</p> <p>(1) 令和4年度 市民大学開設講座総括について</p> <p>◎資料1～4に基づき、事務局から令和4年度講座の実施状況や受講者アンケート結果等について報告しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでの満足度が比較的高く、若い年代や平日の夜の受講者も増えるなど、新たな動きが見られた。 ・会場で受講するのも良いが、オンライン講座は時間を気にせずに受講できる。また、県外の方がオンラインで参加し、今後の交流のきっかけにも繋がったと思う。オンラインは大変だと思うが、有用だと思う。 ・試行実施したことを踏まえた上で、今後のオンライン活用について、事務局はどう考えているか。 →多くの方が学べる環境を整備することは市として大事なことであり、と考えており、成功事例を取り入れながら考えていきたい。 <p>(2) 令和5年度 市民大学開設講座申込状況について</p> <p>◎資料5に基づき、事務局から令和5年度6月開講講座の申込状況を報告しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座の申し込み受付はいつからか。 →実施日の約1ヶ月前を目途に、市報への掲載やチラシ配布などにより改めて広報・募集する。 ・「まちとデザイン」はハイブリッドで実施すると認識していた。オンラインがふさわしい内容であり、オンライン講座として募集していれば、もっと多くの受講者が集まったと思う。 →ハイブリッド・見逃し配信は一部講座で試行実施し、その結果を踏まえ拡大を検討することとしていた。令和5年度はハイブリッドで実施する前提ではなかったため、今から対応するのは難しい。 ・講座回数を減らし、ハイブリッド講座を増やしてはどうか。 ・ハイブリッドで講座を実施できなくても、講座を録画し、見逃し配信をしてはどうか。 |

| | |
|-----|--|
| 内 容 | <p>・ 募集終了後における講座実施方法の変更は難しいことも理解できる。</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1) 令和5年度 市民大学運営委員会等スケジュールについて</p> <p>◎資料6に基づき、事務局から令和5年度の市民大学運営委員会等のスケジュール案について説明しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <p>→質問や意見はありませんでした。</p> <p>(2) 令和6年度 市民大学開設講座体系について</p> <p>◎資料7に基づき、事務局から令和6年度の市民大学講座体系案について説明しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料ではコンソーシアム連携講座で後期講座が記載されているが、実施するのか。 →現時点では後期講座の実施の有無については未定で、仮の予定として表記している。 ・ コンソーシアム連携講座で後期講座を実施しない場合、後期講座を1講座減とするか。 →資料記載の講座数を前提として進めていきたいが、次回の協議において講座案を検討する中で必要に応じて見直したい。 ・ 体系案ではハイブリッド方式や見逃し配信ありなどの講座がある。講座アイデアを出す段階で、どれに当てはまるか具体的に示した方が良いか。 →どの体系に相応しいかも踏まえて検討いただき、講座アイデアに入れ込んでいただければありがたい。 <p>(3) 令和6年度 前期講座プログラムの作成について</p> <p>◎資料8に基づき、事務局から令和6年度の前期講座プログラムの作成について説明しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座アイデアが浮かばない場合はどうしたらよいか。 →昨年度に提案され採択されなかったアイデアを見直し、再度ご提案いただくことも可能である。 ・ 受講者アンケートの希望テーマに対する意見が参考になると思う。細かいところまでは想定しなくても、まずはアイデアを広く募集するということに主眼を置いてはどうか。 ・ 後期ゼミナールでクロスパルにいがたの工作室を使用できるか。 →可能だが、作業内容によっては定員の20名が入らない可能性がある。 <p>(4) 令和6年度 大学コンソーシアム連携講座について</p> <p>◎資料9に基づき、事務局から令和6年度大学コンソーシアム連携講座の幹事校案を説明しました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幹事校が推薦する案②で良いと思うが、8回の講座で体系的に学ぶことがイメージできないので、内容をもう少し詳しく教えてほしい。 ・ 多様性の視点は様々ある。 ・ 多様性に対する意識が高まっていない日本や新潟を刺激していくことは大事な試みだと思う。 |
|-----|--|

| | |
|--------------|---|
| <p>内 容</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 案②が一番良いと思う。「誰一人取り残されない世界を作る」というSDGsの観点が入ると、いろいろな多様性の視点が上手くまとまり、今までとは違った切り口のものになると思う。若い人達に関心を持ってもらうのであれば、SDGsの観点から多様性を学ぶことを学校教育でも力を入れているので、そういう切り口も良いと思う。 <p>◎案②を選定しました。また、詳細な講座案の提出後に再度協議することとしました。</p> <p>(5) 令和6年度 市民提案講座について【非公開】</p> <p>6 閉会</p> |
| <p>傍 聴 者</p> | <p>0名</p> |
| <p>会議資料等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 令和4年度 にいがた市民大学開設講座修了者数 ・ 資料2 令和4年度 にいがた市民大学後期講座終了時アンケート結果 ・ 資料3 令和4年度 にいがた市民大学特別講座終了時アンケート結果 ・ 資料4 令和4年度 にいがた市民大学前期講座終了時アンケート結果まとめ ・ 資料5 令和5年度 にいがた市民大学開設講座申込状況 ・ 資料6 令和5年度 にいがた市民大学運営委員会等スケジュール(案) ・ 資料7 令和6年度 にいがた市民大学開設講座体系(案) ・ 資料8 令和6年度 前期講座プログラム様式 ・ 資料9 令和6年度 大学コンソーシアム連携講座(案) ・ 参考資料 にいがた市民大学 年度別受講者数 ・ 参考資料 令和4年度 にいがた市民大学前期講座修了時アンケート結果 <p>※資料10-1、資料10-2、資料10-3は非公開</p> |